



森に囲まれて木の家で過ごす時間をぜひ味わってみたい。



エントランスから窓を見上げる。



ドッグランのための門を備える。



奥行き3.3mのテラスは小型犬のドッグランに。バリアフリーも施される。



アイデア満載のバーベキュー広場。地場産の海の幸を焼いて食らう。



惜しげもなく採られたゆとりの空間には、10人は一緒に食事できるだろう無垢のテーブルがどーンと構える。

さすがの貸別荘は、外回りにも工夫が凝らされている。まず、目に留まるのは広々としたテラス。余裕の奥行き3.3mは、小型犬のドッグランも兼ねている。そのため、手すりにはスライド式の門が設けられる。これはサエラホームさんのアイデアだ。

貸別荘ならではの、ドッグランにバーベキュー広場、ピザ釜

そして、見過ごせないのは、バーベキュー広場。ホームセンターでは売っていない特別の作りだ。これまでの経験から培ったこだわりをふんだんに詰め込んであるそう。海に囲ま

「サエラホームさんを選んだのは、大きな窓が入ったからなんです」リビングにお邪魔して、その内側を見上げる。ぽっかり覗く空の青とまばゆくこぼれる光。目を落とせば、風に葉そよぐ緑の木、また、木。いちばんお気に入りの場所は？

「やっぱりこの窓ですね」

ゆうゆうと広がるガラス面は、リビングの吹き抜けと一体になり、生み出される開放感は、気持ちいいことこの上ない。

「お客様には、ゆったりと真の別荘気分を味わっていただきたいんです」

「サエラホームさんを選んだのは、大きな窓が入ったからなんです」

リビングにお邪魔して、その内側を見上げる。ぽっかり覗く空の青とまばゆくこぼれる光。目を落とせば、風に葉そよぐ緑の木、また、木。いちばんお気に入りの場所は？



正面いっぱい広がる窓の迫力が目に留まる。これが気に入ってサエラホームさんを選んだ。



株式会社ナカガワ代表取締役・中川広紀さん(右)と床暖房・ピザ用石釜施工の大竹さん(左)。

能登の土地柄と本物の良さを 貸別荘の集大成は夢のログハウス

海あり、緑あり、温泉あり。能登のリゾート地に姿を見せた、真新しい貸別荘は本物の木の家だった。遠くから人が来て、地元の人も集う。いい土地柄に、いい思い出を作る、交流の拠り所になっていた。



夕景にライトアップも映える。

金額が高かったログハウス別荘の新ラインナップに

「ログハウスを建てることは、親父の夢だったんです」

取材班が現地を訪れ、出来たばかりの真新しい木の家について伺ったとき、開口一番、聞かれたのは、そのひと言だった。

言葉の主は、貸別荘コテージ「ハーランドヒルズin能登」を営む株式会社ナカガワの代表取締役・中川広紀さん。「親父」である現オーナーが立ち上げた事業を引き継いでいる。

「親父は、ずっと、ログハウスを建てたがっていました。この夏に完成し、秋に入って貸別荘としての営業を開始したばかり。ようやく、念願がかなったわけです」

お気に入りの大きな窓はサエラホームさんを選んだ所以

「ハーランドヒルズin能登」は半島の中ほどに位置する別荘地「志賀の里リゾート」に全10棟の貸別荘を所有し営んでいる。初めてのログハウスは、その10棟目として仲間入りを果たしたわけだ。

道に面した一画で、真新しい木の家は、人目を惹かずにはおられない。「通りすがりに『中を見せてくれ』なんて聞いて下さる方もいます」

雑木林の斜面に姿勢よく立ち上る



2階東側寝室。布団が3組置かれる。



2階西側の寝室。ウォーターベッドが置かれる。木漏れ日に目覚める朝は、特別な時間になるだろう。



2階中央の寝室。2段ベッドは子供たちに人気。



2階ロフトも広い。ソファとテレビが置かれ、団らんの場に。



天然温泉引き込みのお風呂。



吹き抜けから見下ろす大きな窓。これが気に入ってサエラホームさんを選んだ。



和室には、上品な和紙の畳が敷かれる。

「ハートランドヒルズ in 能登」
 石川県能登半島の
 リゾート地にある貸別荘コテージ
 〒925-0141
 石川県羽咋郡志賀町高浜町ク 32-1
 TEL : 0767-32-3800 (シャティナカガワ)
 URL : <http://hl-hills.jp/>

「本物を知ってもらいたい。喜んでほしい。それが私の集大成です」
 お話を伺ううち、気が付くと、人が増えていた。ギターを持った若い方も、わいわいと。聞けば、広紀さんのお仲間だそう。ピストロ、コテージ、カフェのオーナー。人と関わるのが好きな屈託のないコミュニティーがある。旅人を気兼ねなく受け入れてくれる。そんな能登の土地柄を見

「ログはいいね。無垢は、素材がそのまま。木は柔らかいからいいね」
 そして、中野さんと連れ立ってきた方、それは、なんと、貸別荘オーナーの中川洋さんだった。ログハウスへの想いをぜひ伺いたいところ。
 「これまで貸別荘を20年やってきて、最後はログハウスと想っていました。ですから本当に好きに造りました。サエラホームさんの斬新なデザインを本で見ても、『これだ』と思ったんです」
 実は、新築で貸別荘を営むことは、一般に、ほとんど無いそう。建築費をなかなか回収できないからだ。それでも、思い切つて造った、その心は？

「ログはいいね。無垢は、素材がそのまま。木は柔らかいからいいね」
 そして、中野さんと連れ立ってきた方、それは、なんと、貸別荘オーナーの中川洋さんだった。ログハウスへの想いをぜひ伺いたいところ。
 「これまで貸別荘を20年やってきて、最後はログハウスと想っていました。ですから本当に好きに造りました。サエラホームさんの斬新なデザインを本で見ても、『これだ』と思ったんです」
 実は、新築で貸別荘を営むことは、一般に、ほとんど無いそう。建築費をなかなか回収できないからだ。それでも、思い切つて造った、その心は？

サエラホームの
ワンポイントアドバイス
 一番人気のRX-TW-168Vをベースに、オーナー様のご要望のプランにアレンジされています。オーナー様の自然木に対する意気込みが感じられます。宿泊体験で、人間が自然界で生かされていることを改めて感じます。

キットハウスアイテム **RX-TW-168V**

1F 108.42㎡ (デッキ含)
 2F 69.66㎡

取材協力 / 株式会社サエラホーム <http://www.saelahomes.com/>
 広島県広島市南区出島 2-20-12 TEL. 082-256-4550

「お客様にはこの家を好きに使ってほしいと思います。別荘そのものを体験し、能登の良さを知ってほしい。いい土地に、いい建物があれば、なおさらいい思い出になるでしょう」
 こう語る、広紀さん。創業の想いは、しっかりと受け継がれている。

「この床暖はね、岩と石を敷き詰めた中を温水のパイプが通つてんだ。石の中のセラミックが温まると遠赤外線を出してね、身体の中からポッカカだよ」
 考えて見ると、ピザの石窯も遠赤外線効果と聞く。同じ理屈なわけだ。そこに、すかさず、中川さん。
 「大竹さんが石窯で作るお手製のピザは最高に美味しいんですよ！」
 これはビックリ！いかにも職人さんの体で、実はイタリアンのたしな

「この日は、折よく、件のピザ金の工事に見えていた業者さんにお会いすることができた。その御仁・大竹さんは、ログハウスの和室の床暖房の工事も担当したそう。
 大竹さん曰く、
 「この床暖はね、岩と石を敷き詰めた中を温水のパイプが通つてんだ。石の中のセラミックが温まると遠赤外線を出してね、身体の中からポッカカだよ」
 考えて見ると、ピザの石窯も遠赤外線効果と聞く。同じ理屈なわけだ。そこに、すかさず、中川さん。
 「大竹さんが石窯で作るお手製のピザは最高に美味しいんですよ！」
 これはビックリ！いかにも職人さんの体で、実はイタリアンのたしな

「都会ではできないことを気兼ねなく楽しんでいただきたいのです」
 さらに、今後の「目玉」と言える構想もある。それは「ピザの本格石窯」を造ること。自宅では、ほとんど実現不可能な本格石窯焼きピザが、ここでは思う存分できるようになる。この本が出るころには、もう、稼働が始まっているだろう。

**いい土地に、いい建物
 そして、いい思い出を**